

進路室だより

冬休み特集号

—光陰矢の如し—

【発行】

愛媛県立南宇和高等学校
進路課

努力せよ、必ず道は開かれる (その2)

教頭 永井伊秀

センター試験がいよいよ迫ってきました。今年度は1月19、20日に行われます。3年生の進学希望者は、この日に向けて日々、努力してきたと思います。

私は、センター試験の前身である「共通一次試験」を受験しました。当時は5教科7科目1000点満点だったと記憶しています。前期、後期もなく共通一次試験を受けて、各大学が実施する二次試験1回のみで合否が決まる一発勝負でした。

私は高校時代、剣道部に在籍していたので、本格的に勉強に取り組み始めたのは県総体が終わってからでした。将来の夢も十分考える時間もなく、遅れを取り戻そうと、ひたすら机に向かっていたと思います。夏休みは校舎の一番涼しい場所を見つけ、渡り廊下に友達と机を並べ勉強したり、冬は家の炬燵でミカンを食べながら勉強したりと自分なりのペースで取り組んでいました。今みたいに、スマホもインターネットもありませんでしたので、何の誘惑もないよき時代だったと思います。また、部活動が終わり、目標がなくなっていた私は、日記を書くことを日課にしました。勉強のことだけでなく、その日にあった些細なこと、嬉しかったこと、悲しかったことなど思いつまま書いていきました。おそらく今も家のどこかに当時の日記はあると思います。日記を書くうちに自分自身を見つめ直すことができたと思います。

そして迎えた共通一次試験。前日に降り積もった雪が道路脇に寄せられ、滑らないよう気を付けながらホテルから試験会場である愛媛大学まで歩いて行きました。程よい緊張感の中、ベストを尽くしましたが、希望する大学のボーダーラインには届きませんでした。かなり落ち込みましたが、担任の先生や家族にも励まされ、前を向くしかないと自分に言い聞かせました。二次試験の科目や配点、家族に迷惑をかけたくない気持ちなど、本当に悩みましたが、たくさんの人からアドバイスをいただき受験する大学を決めました。

二次試験は卒業式が終わって一週間後に行われるので、卒業式の余韻に浸る間もなく二次試験に備えました。今思えば、高校時代は勉強と部活動のみで、楽しい思い出はあまりありませんでしたが、両立することに向けて日々努力することを学んだような気がします。

3年生は、悔いが残らないよう最後までベストを尽くして下さい。もしかしたら、一生を決める試験になるかもしれませぬ。

1、2年生も毎日を大切に、日々努力を続けてください。そうすれば、必ず道は開けます。皆さんの努力が報われることを願っています。

『学び続ける』

金子 晃大

先日、久しぶりに実家に帰る機会がありました。普段の忙しさから離れ、家族と互いに近況を話したり、何気なく流れているテレビを観たりしていました。そこには、朝の連続テレビ小説が映っていました。インターネット等でその人気ぶりは知っていたものの、実際に観たことはなく、話の流れは全く分からないながらも、熱心に視聴する家族の横で、同じようにテレビを眺めていました。あるシーンで、アメリカ軍の兵士が主人公たちに対し、制止を求める場面がありました。その時、そのアメリカ兵は「No one move!」と言いました。私の訳が間違っていなければ、「誰も動くな。」という意味になります。私はこのセリフを聞いて、「Don't move!」ではなく、何故この表現を用いたのか興味を持ちました。どちらの表現も訳に大きな差はなく、どちらも意味が通じるのだとは思いますが、私にとっては後者の方が直接的であり、そのシーンの雰囲気としても適した表現だったのではないかと感じました。

私は、高校時代に英語があまり得意でも好きでもありませんでした。単語を覚えることも面倒だと感じ、文法を理解することもやりがいを感じていませんでした。私が英語に関心を持ち、もっと学びたいと思うようになったのは、教員になってからの話です。前に勤めていた学校に、歳が近く、仲の

良い先生がいました。その先生は、アメリカ人の旦那さんがおり、自然と旦那さんとも関わる時間が増えていきました。私の英語よりも、彼の日本語の方が達者であり、お互いにコミュニケーションをとるために努力していました。その中で、自分が話す英語が伝わることや、彼の話が理解できることに大きな充実感を抱きました。彼との出会いを境に、英語に興味を持ち、少しずつではありますが、英語を学ぶことに楽しさを見出すことができるようになりました。

現在、高校生の時にこの想いを持つことができたら、もっと英語を勉強することができていたのかなと、少し後悔をしています。英語を話すことに恥ずかしいと思っていたこと、分からないことに素直になれず、教えを乞うことができなかった自分に対し、若く、未熟であったと感じています。私は幸いにして、今さらながらも学ぶ楽しさに気づくことができました。何歳になっても新しいことに敏感になり、知らないことを知る喜びを感じたいと思っています。そのために、素直な気持ちと謙虚さを持ち、関わってくれる全ての人が何かを教えてくれる存在であると信じて、日々の生活を送っていききたいです。

最後に、与えられることが当たり前であった高校までの生活から、「学ぶ」姿勢が求められる大学、社会に羽ばたく三年生のみなさん、楽せず楽しむことができるような人生を送ってください。

3年生からの声

—後輩へのアドバイス—

～就職～

3年1組 澤本沙也加

私は、県外のホテルに就職試験を受けに行きました。私がホテルの仕事を選んだ理由は、母から勧められたからです。3年生になった時、私は就職のことを全く考えていませんでした。2年生の時から、先生に「考えておきなさい。」と言われていたのですが、私は色々理由をつけて考えることを後回しにしていました。そして、3年生になり求人票を写しては、親と相談するという日々を繰り返していました。そして、ある日母からホテルの仕事が良いのではないかとわれ、興味を持ちました。それから学校に来ていたホテル関係の求人票を調べたり、ホームページを見たりして決めました。

就職試験では、適性検査と筆記試験、面接がありました。筆記試験では、2年前の先輩が書かれた報告書に書いてあった

事が出たので、あまり悩まずに解くことができました。面接は、グループ面接でした。予想していなかった質問がほとんどでしたが、学校で面接練習をしていたおかげで、あまりつまずかずに答えることができました。

3年生になると就職が決まるまで、かなり大変です。就職活動も最後の方になると慣れが出てきて、しんどくなると思います。ですが、練習はしないと力になりませんが、しすぎても損になることはありません。練習した分だけ自信に繋がりと、力になります。私も練習していた時は、かなりしんどくやめたくりましたが、試験が終わった後は「あきらめないで良かった。」と思いました。1、2年生のうちは、まだ就職について分からないと思うので、検定やボランティア、部活動、勉強など3年生になって後悔しないように、今自分に来ることに取り組んでみて下さい。他人事とは思わず、自分から行動に移すことが大切です。頑張ってください！

～自分の将来のために～

3年2組 松岡伽奈

私は、試験に向けて、夏休みから就職活動に取り組んできました。夏休みは毎日のように学校に行って活動したり、放課後に面接練習をしたり、大変で嫌になることもありましたが、自分のために頑張ってきたよかったと思います。また、就職活動は思ったよりも思わなくてはいけなことが多く、試験日はすぐにやってきました。

試験前日は、忘れ物がないかしっかり確認して準備し、家でも1人で何度も面接練習をして全て頭に入れるようにしました。当日は、すごく緊張して、不安なところがたくさん出てきました。空いている時間は、面接ノートを見直して過ごし、集合時間までに会場に入りました。会場に入ると、緊張感が増し、頭が真っ白になりそうでした。しかし、緊張して表情が硬い私たちに、会社の方々、待っている間も話しかけてくださったり、

笑わせてくださったり、雰囲気や和らげてくださいました。そのため、面接も試験もリラックスし、落ち着いて行うことができ、今まで練習してきた成果を出し切ることができました。

試験が終わり、学校生活を振り返ってみると、資格を取得したこと、定期考査で良い結果を取るため努力してきたことが、とても役に立ちました。資格は取得すればするだけ、履歴書や面接でアピールすることができるので、どんな資格も挑戦するべきだと思います。また、考査の結果は、企業に送られる評定に大きく関わってくるので、毎回手を抜かず、努力することが大事だと思います。これからの学校生活、勉強や部活など、様々な面で、自信を持てることができるように頑張ってください。

～夢の実現へ向けて～

3年3組 山下日菜乃

私が看護師になるうと決めたのは、小学生の頃です。祖母が癌で入院した際、祖母の状態に合わせて優しく接しながら、手際よく仕事をこなす看護師さんを見て、看護師という職業に憧れを抱くようになりました。祖母が病気で苦しんでいた時、祖母のために何かできることがないか、どうしたら祖母は元気になってくれるのかと、いつも考えていました。でも、小さな私は見守ることしかできませんでした。世の中には病気と闘っている人がたくさんいます。祖母にしてあげられなかった分、患者さんの気持ちが分かってくれたいという看護をしてみたいという気持ちが大きくなり、私の夢となりました。しかし、夢を叶えるためには、多くの事を学ばなければいけません。

高校に入ってからは、定期テストで上位の成績を保つように意識し、ボランティア活動にも積極的に参加しました。3年生の秋頃になると、自分の選択は正しいのかと、不安になる時もありました。「自分は自分」と割り切って頑張りました。小論文も毎日先生に添削してもらい、最初は苦手意識もありましたが、数をこなすにつれてすらすらと書くことができるようになりました。面接では、面接ノートを暗記し、どのような質問がきても対応できるようにしました。受験は長いようであつという間です。後悔しないように、今自分にできることから努力し、進路を実現させてください。

～進路実現に向けて～

3年4組 田中李奈

私は、9月にAO入試を受験しました。進みたい学部を決めたのは1年生の夏頃で、受験する大学を決めたのは、2年生の頃でした。志望大学を決めるのに早すぎることはないので、オープンキャンパスやオープンフィールドワークに積極的に参加し、自分の進路について考えることが大切だと思いました。

私は、AO入試を受験するにあたって、1年生の時から早めに準備することの大切さを感じました。本校では、様々な研修やイベント、ボランティア等、多くの活動を行うことができます。私は、このような活動に1年次から参加し、多くの経験を積んだことが試験を受ける上でとても役に立ったと思います。2年生からでも、様々な活動に参加できると思うので、ぜひ積極的に参加してみてください。また、自分の進みたい進路を早めに決めて、それに向けて知識を深

めることが大事だと思いました。本を読んだり、ネットで調べたりして自分の知識量を少しでも増やしていくことが合格への一歩になると感じました。

私の場合は、講義理解力試験やグループディスカッション、面接、またそれらに対する作文等、様々な試験がありました。いずれも、何度も練習し、回数をこなしていくことが大切だと感じました。面接は、特に話せる内容が何もないと苦労するので、1、2年生の時から準備をしたり、将来こつてしっかり考えたりしておくといいと思います。

時は、焦ったり辛くなることもあると思いますが、クラスの仲間と支え合って、受験に向けて頑張ってください。

～これからのスケジュール～

12月25日(火)～28日(金) / 冬期課外

1月19日(土) / 進研記述模試③(1年)

1月19日(土) / 公務員模試①(2年)

1月18・19日(金・土) / 進研記述模試③(2年)

1月19日(土)・20日(日) / 大学入試センター試験

1月21日(月) / センター試験自己採点

1月26日(土) / 県学力テスト(1・2年)

2月2日(土) / 就職模試①・公務員模試②(2年)

2月8日(金)・9日(土) / 進研マーク模試①(2年)

3月2日(土) / 就職模試②(2年)

A rolling stone gathers no moss(転がる石に苔むさず)

3年1組担任 寺元 充彦

このことわざを知っていますか？みなさんはこのことわざをどのように解釈したでしょうか？この言葉には国によって2通りの解釈があります。

1つ目は日本のことわざの「石の上にも3年」に当たる解釈に相当します。苔は長時間、同じ環境でおかれなると良い苔は生えず、またそこに根つきません。少なくとも3年は同じ仕事をして学ばないとスキルは身につかないということです。イギリスでは、しばしば仕事や住所、考え方などを変える人は信用できない、浮気者、浮浪者、など思われています。日本の「君が代」の歌詞にも「苔のむすまで」と永く続くことを謳っています。このようにやたら動かず、変更せず、我慢して耐えることが美徳の考え方です。2つ目は「流れる水は腐らず」という意味に近く、転がる石には苔がつかないので、いつまでも新鮮で変化に富んでいて能力を錆び付かせることがないというような、プラスのイメージで捉えています。これはドンドン積極的に変化して、それにより良いものに変えていく考え方です。仕事においても、できる人ほど会社を変わり、住所も変わり、次々と新しいことに挑戦し、その都度給料も上がるという成功者の図式(所謂アメリカン・ドリーム)です。

2つの解釈を説明したところで、先述の質問に戻りますが、みなさんはどちらに解釈したでしょうか？近年若者の離職率が高いことが取り沙汰される

ことが多いですが、入社した会社を3年以内に辞める割合は高卒で40%、大卒で30%を越えているそうです。今の人は後者の考えをする人が多いのかもしれませんが。今年は3年生の担任をさせていただき、就職活動を頑張った生徒たちの姿を見てると、せっかくあんなに頑張って就職したのだから長く続けてもらいたいと内心思っている所ではありません。特に専門性の高い職種に就職する場合、高いスキルを得る(苔を生やす)には、長い期間が必要になってきます。一方で良い苔を生やすためには、その周りの環境も大事だという考えもあり、より良い環境を求めて転職を考える気持ちも理解できます。この英語の解釈に答えなど無くどちらも正しいのですが、苔は自然に生えてくるものではなく、自分で育てていくものだと私は思っています。植物を育てることも一緒に、より良い植物を育てようと思うなら、土を耕し、肥料を施し、水をやり、目一杯の太陽を浴びさせてあげます。みなさんには自分の苔を健全に育てるためにできることを日々考えながら仕事に励んでいってほしいと思います。

高校を卒業してすぐ就職する人も、大学などに進学してから就職する人も、みなさんの新卒3年間で苔むす日々であると共に、新鮮で変化に富んだ日々になることを願っています。

3年生アンケート

3年生に、「先輩から後輩へのアドバイス」のアンケートをとりました。ぜひ、参考にしてください！

- ・面接練習は、回数を重ねれば重ねるだけ、堂々と出来るようになります。
- ・前もって勉強や準備をしておきましょう。また、行きたい学校などによって成績が異なってきますので、テスト勉強は目的のした方が良いでしょう。
- ・まじめに取り組むことです。
- ・前もって準備しておくことが大切だと思います。オープンキャンパスにも、1年生からしっかり参加しておけば良かったと後悔しました。なので、早めに参加しておくの良いと思います。
- ・私の試験は、面接だけでした。オープンキャンパスで顔を知って下さっていたし、私も話したことがあったので、気軽出来ました。オープンキャンパスは、何度も行っておくといいと思います。
- ・テスト勉強は頑張った方がいいよ。赤点取るとしんどいよ。
- ・漢字を正しく書けるようになってください。
- ・日頃の授業が大事。
- ・新聞やニュースに目を通す、文章を読むことに慣れるなどは、小論文を書く上で役に立つと思います。推薦入試を考えている人は、小論文と面接練習をしっかりしてください。
- ・早めに行動することを心がけたら良いと思います。
- ・記念館の先輩の面接対応コーナーで行って、自分が行きたい学校を見てみる。
- ・部活動での全国大会出場は使える。
- ・推薦入試は、全力で練習することと、応用力が重要だと感じました
- ・推薦入試の小論文は、担当の先生に何度も見てもらい、試験対策をしておくべき。面接は担当の先生に何度も指導してもらったり、友達と面接練習をした方がいいのか効果的だと思います。
- ・面接練習はとりあえず多くすることがいいと思います。
- ・定期考査をしっかり勉強した方がいいですよ。

・面接が必要な人は早めに面接ノートを作って、練習をたくさんすることが大切だと思います。

・勉強が苦手な人は、部活動を頑張ってください！

・小論文も面接も早め早めこやって、自信をもって受験を迎えられるようにしたいと思います。

・進路はなるべく早く決めた方がいいと思います。自分で頑張っているか、些細なことでもいいので誰かに聞いてみて参考にしてみるといいと思います。

・進路も大事ですが、僕は今しかない高校生活を全力で楽しむことも同じくらい大切だと思います。僕は楽しめました。でも、もっと楽しめました。後悔しています。『何事も後悔する前に行動する』これが進路でも高校生活でも大切だと思います。一年生も二年生も今からでも遅くないです。あと写真は撮っておいた方がいいですよ！

・たくさんの先生にアドバイスをもらって下さい。

・苦手なものを少しでもなくしておくこと。

・ボランティアに行ったらいいよ。検定は積極的に参加。部活も頑張ってください！

・しっかりオープンキャンパスに参加して決める。学校の雰囲気、学生さんや先生をよく見てみる方がいいと思う。

・自分の行きたい学校を早く決める為にも、早くオープンキャンパスに行行って、その学校の良さや特徴を知っておいた方が、志望理由書や面接の時苦労が少なくなると思います。

・今出来る事を一生懸命頑張ってください。

・自分の夢の実現に向けて頑張ってください。

・志望校について両親とよく話し合ってください。

・面接ノートや志望理由書は、自分の言葉でしっかり書くことが大事だと思います。そうすることで、詳しく聞かれたときに答えやすくなりました。

・小論文は、様々な形態の問題を解いて数をこなして慣れる。

・友達と話することも大事だと思います。

・準備を早めにするのが一番大事だと思います。

・英検や漢検を受けておく方がいいと思います。